



大ヒットとなった「黄金重茂カレー」



高品質の貴重な名産品が買える



重茂漁業協同組合
業務部長の
後川良二さん



施設内でも
「重茂の焼うに
クリームパスタ」が
食べられる。
名物のめかぶは
食べ放題



「浜食体験」も楽しい

宮古市重茂水産体験交流館「えんやあどっと」

宮古市の水産業の体験と、同地の良質な海産物のPRを行う目的で開設された宮古市重茂水産体験交流館「えんやあどっと」。魅惑的な海産物の宝庫だ。

「えんやあどっと」は重茂漁港のほど近くの道路沿いにある。2021年1月8日、宮古地区漁業体験と、同地区の良質な海産物をPRする目的で宮古市が開設した。運営は宮古市と重茂漁業協同組合が協働で行っている。

観光客にとっては、ここでしか買えない・味わえない魅惑的な海産物が手に入る絶好の場所だ。

重茂漁協では、震災の翌年の3月11日から毎年この日、災害を忘れないために復興商品を開発してきた。2012年の第1弾は、独自に生産した塩蔵わかめ。しゃぶしゃぶに最適だという。

「第2弾からは、地域の食品加工業の復興を意識して、コラボして企画するように変えました」とこの商品開発を担当している重茂漁業協同組合業務部長の後川良二さんは言う。

第2弾以降は、無添加のサバ缶、「こんぶちっぴす」、「くさわかめ」と続き、第5弾はアワビを丸ごと1個入れた「黄金重茂カレー」だ。

「アワビをスライスしたら価値がなくなると、丸ごと入れることにしました。1個4,000円でしたが、用意した3,000個は一瞬で売れました」と後川さん。その後、「きざみめかぶ」、「重茂焼うにプレミアムアイス」、「あわびのアヒージョ」、「TOMOE

CHOCOLATE」と続き、2021年度の第10弾は「重茂の焼うにクリームパスタ」。

「焼うにアイスは2日で完売、パスタも好評です」と後川さんは相手を崩す。なお、第11弾は「炊き込みご飯」を企画しているそうだ。この旺盛な商品づくりから目が離せない。

「えんやあどっと」では、海藻類の加工や焼きウニづくり、新巻き鮭や干物の製造といった水産加工体験をはじめ、季節の魚介類の調理実習といった魚食文化の普及、漁師の食の体験ができる。オープン1年で1万人の来場者を目標にしていたが、上回る事が確実だ。当地は東経142度の本州最東端なので、これにちなみ、1万4,200人を目標にしている。



住所：岩手県宮古市重茂第7地割33番地5
電話：0193-68-2301

開館時間／9:00～16:30 定休日／火曜日、年末年始